

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 19 年 11 月 29 日 (2007.11.29)

【公開番号】特開 2006-103160 (P2006-103160A)
 【公開日】平成 18 年 4 月 20 日 (2006.4.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-016
 【出願番号】特願 2004-293071 (P2004-293071)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 29/377 (2006.01)
B 4 1 J 29/38 (2006.01)
H 0 4 N 1/00 (2006.01)
G 0 3 G 21/20 (2006.01)
G 0 6 F 1/20 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J	29/00	P
B 4 1 J	29/38	Z
H 0 4 N	1/00	C
G 0 3 G	21/00	5 3 4
G 0 6 F	1/00	3 6 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 4 日 (2007.10.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像を入力する画像読取手段と、当該入力した画像または外部装置から受信した画像データに基づいて出力するための画像を形成する画像形成手段と、当該画像読取手段または当該画像形成手段を冷却する冷却手段と、を有する画像入出力装置であって、

受信した動作モードを示す情報に基づいて、前記画像読取手段または画像形成手段を用いて前記画像入出力装置を動作させる動作モードを判定する判定手段と、

前記画像入出力装置に前記判定手段によって判定された動作モードを設定する設定手段と、

前記判定手段により判定された前記動作モードに基づき、前記冷却手段の動作状態を切り換える制御手段と、

を備えることを特徴とする画像入出力装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記画像読取手段及び前記画像形成手段の動作モードに応じて、前記冷却手段を異なる動作状態に切り換えることを特徴とする請求項 1 に記載の画像入出力装置。

【請求項 3】

前記判定手段は、受信した前記動作モードを示す情報に、当該動作モードの詳細情報が付加されているか否かを更に判定し、

前記制御手段は、前記詳細情報が付加されている場合には、該詳細情報に応じて前記冷却手段の出力を制御することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の画像入出力装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】画像入出力装置
【手続補正3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0010
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0010】

すなわち、画像を入力する画像読取手段と、当該入力した画像または外部装置から受信した画像データに基づいて出力するための画像を形成する画像形成手段と、当該画像読取手段または当該画像形成手段を冷却する冷却手段と、を有する画像入出力装置は、

受信した動作モードを示す情報に基づいて、前記画像読取手段または画像形成手段を用いて前記画像入出力装置を動作させる動作モードを判定する判定手段と、

前記画像入出力装置に前記判定手段によって判定された動作モードを設定する設定手段と、

前記判定手段により判定された前記動作モードに基づき、前記冷却手段の動作状態を切り換える制御手段と、を備えることを特徴とする。